

**6月定例
議会報告**

**暮らし優先の市政実現へ
みなさんの願いを届けました**

6月定例議会は28日閉会されました。日本共産党野洲市議会議員団(小菅六雄・野並享子市議)は、市民のみなさんから寄せられました、暮らしの要求実現へがんばりました。

6月議会の主な議案の態度	= 賛成 = 反対		小菅六雄(共)	野並享子(共)	西本俊吉(ネ)	本田章紘(ネ)	三和郁子(ネ)	鈴木市朗(ネ)	川口東洋(ネ)	矢野隆行(公)	梶山幾世(公)	内田聡史(豊)	奥村治男(豊)	藤村洋二(豊)	田中良隆(豊)	藤下茂昭(豊)	中島一雄(豊)	田中孝嗣(豊)	中田幸子(豊)	小島進(豊)	原田薫(豊)	田中榮介(豊)	林克(豊)	河野司(豊)	秦眞治(豊)	荒川泰宏(豊)
市民税率を一律10%にする市税条例の改正 (地方への「税源移譲」の名のもと、市民税の税率を10%に。低所得者への増税)																										
守山野洲休日急病診療所を閉鎖するための議案 (野洲病院小児科日曜診療が廃止の危機。このとき、守山野洲診療所まで廃止に)																										
パートタイム労働者などの最低賃金引き上げ・労働条件向上を求める請願 (生活保護基準より低い「最低賃金」の引き上げ、労働条件の向上を求めたもの)																										議
郵便局の集配業務廃止を中止し、存続を求める請願 (サービス後退となる集配業務廃止の中止を求めたもの。他議会では採択もある)																										長
教育基本法「改定」の慎重審議を求める請願 (憲法と内心の自由を侵すための改悪でなく、慎重審議を行うよう求めたもの)																										
医療制度改悪やめること・介護保険制度の改善を求める意見書 (高齢者の医療費値上をやめること。介護保険料・利用料の減免を求めたもの)																										

共 = 日本共産党議員団(2名)、豊 = 豊政会(保守自民党で構成15名)、ネ = ネットワーク野洲(連合系・民主党、自民党などで構成5名)、公 = 公明党(2名)

**パートタイム労働者の最低賃金引き上げ、郵便局の集配業務廃止反対、教育基本法改正の慎重審議を求める請願
豊政会(保守自民党)・公明党などが反対**

6月議会には、市民の暮らしや平和を守ることを求めた「請願」(上記表)が提出されました。政府は、郵政民営化で特定郵便局の「集配業務廃止」を進めようとしています。サービスの後退につながるもので、「集配業務の廃止の中止を求める請願」です。パートタイム労働者など、非正規労働者の最低賃金は極めて低く、労働条件の改善が求められています。「最低賃金の引き上げと労働条件の改善を求める請願」です。自民党や民主党が進める教育基本法の改悪を許さず、「慎重審議を求める請願」です。しかし、これらの請願は、豊政会や公明党などの反対で不採択になりました。

市民医療守れ 野洲病院の小児科日曜診療を守れ

滋賀医大が医師の派遣中止を表明しているため、野洲病院の小児科日曜日診療が廃止されかねない事態です。日本共産党市議会議員団は、一般質問で強く存続を求めました。このような事態のなか、守山野洲休日急病診療所の廃止を求める議案が提出されました。日本共産党は、「野洲病院の診療存続の保証がないまま守山野洲休日急病診療所の廃止は許されない」と反対しました。しかし、廃止の議案は日本共産党議員団以外の議員の賛成で決まりました。

また、日本共産党議員団は、高齢者への医療費負担強化反対と介護保険制度の充実を求める意見書を提案しました。この議案は、豊政会や公明党の反対で否決されました。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2006年7月2日 88

市政・市議会へのご意見・ご要望、暮らしの相談をお気軽にお寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話)589-4971 (FAX)589-6184
野並享子 北野丁目7-10 (電話)587-0985 (FAX)586-1102

お知らせ 引き続き、6月議会の報告をします

6月定例市議会の報告は、引き続き、「やす民報」「市議会ニュース」でお知らせします。「赤旗」には、毎週、「やす民報」をお届けしていますので、ぜひ、しんぶん「赤旗」をご購読ください。左記の議員までお申込みください。